

雨野さんの「満月クラブ」写真展と

——川越急ぎ旅・第2弾

真夏日に近い4月17日、霞ヶ関(埼玉県川越)の川越西文化会館で、HPではお馴染みになった雨野さん(電気34年)が会長をされている「満月クラブ」の第48回写真展が開催されており鑑賞してきました。今回もカメラ大好きの幹事仲間と一緒にでした。

年2回開催なので、来春は記念すべき50回を迎えます。カメラ自慢の会員が力作を披露しておりました。

展示されている作品について雨野さん、そしてシャッターの一瞬を逃さない力作の作者(カメラマン)からお話をお聞きました。

雨野さんが寄贈している「海ほたる」の写真は、博物館の改装に合わせ終了するそうですので、5月の連休にぜひお出掛けください。



雨野さん 作品の前で



雨野さん作品 左:一休み(川越市 御伊勢塚公園)
 右:宝石の輝き(川島町 白鳥飛来地)
 左:筆者 駒米 右:雨野さん



さて昼食は今回も雨野さんの車で案内頂きました。昨年11月で紹介した鰻屋と違うもう一軒の老舗「ポンポコ亭」へ行きました。

名前の由来は「美味しいウナギを食べて満足してお腹がポンポコになる」んだそうです。店のお姉さんがお腹をポンポコ叩いて説明してくれました。駅からは少し離れておりますが価格はお手頃でお勧めです。

店の前に巨大な信楽焼の狸の置物が目印です。



あとは時間の許す限りお土産屋をめざし豆屋と漬物屋さんへ。

先ず豆屋本舗、店先でお姉さんが一押しのお豆が付いた楊枝を渡される。鰻と豆は別腹で、店内で味見味見、お土産をゲットしてきました。

そして漬物屋さん、地酒の鏡山酒造(利き酒は有料)、川越地ビールなど他の店を眺めて疲れ果てた約6時間の長旅でした。

そうそう忘れてはならない川越大師「喜多院」へ参詣。喜多院(きたいん)は、[埼玉県川越市](#)にある[天台宗の寺院](#)。山号は星野山(せいやさん)。[良源](#)(慈恵大師、元三大師とも)を祀り川越大師の別名で知られる。建物はほとんどが[重要文化財](#)に指定され、寺宝にも貴重な美術工芸品を多く有する。広大な境内は池や堀を廻らせた景勝地となっている。「日本三大羅漢」の1つ・[五百羅漢](#)は[天明2年\(1782年\)](#)から[文政8年\(1825年\)](#)の半世紀にわたって建立されたもので、538体の石仏が鎮座する。石仏はすべてが異なる表情・ポーズであるが、深夜、羅漢の頭を撫でると1つだけ温かいものが必ずあり、それは亡くなった親の顔に似ている、という伝承が残る。ここは有料、お土産で散財したためパスしてきました。



月曜日なのに大勢の観光客で賑わっていました。また、外国人相手に着物のレンタル屋さんがあり、観光客に混じり着物姿の可愛い女性がいました。また人力車もありでした。観光コースには乗り降り自由のバスがあり、自由気ままに散策するのが最高です。

(駒米 隆記)